

令和6年度 北海道地区7国立大学法人工事入札監視委員会 定例会議議事要旨

開催日及び場所	令和6年12月23日(月) Web開催 本年度当番校：北見工業大学	
委員	委員長 菊地 均 (学識経験者) 委員 後藤 正典 (公認会計士) 委員 佐藤 昭彦 (弁護士) 委員 白石 悟 (学識経験者) 欠席	
審議対象期間	令和5年10月1日～令和6年9月30日	
抽出案件(合計)	8件	(備考)
工事(小計)	7件	審議の前に、昨年度の本委員会にて菊池委員を任期満了となる令和7年9月30日まで委員長として選出していることから、今年度についても議事進行についてお引き受けいただいた。 審議を開始するに当たり、菊池委員長から、今年度の審議対象案件の抽出の考え方について説明があった。 抽出案件の個別審議については、各発注機関の担当者から説明を行い、質問等への回答を行った。 各審議終了後、次回開催時の案件抽出について、令和7年10月以降も本委員会委員の再任を内諾いただいた、菊池委員長に依頼した承を得た。 来年度の当番校は北海道教育大学であるとの説明があった。
一般競争 (調達協定対象工事)	0件	
一般競争 (政府調達協定対象工事を除く)	7件	
通常指名競争	0件	
随意契約	0件	
設計・コンサルティング業務	1件	
委員からの意見・質問、それに対する意見等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	・低入札価格調査を実施するにあたり、極端に安価な価格で入札してきた場合は、適切な施工が可能かという視点に加えて、何らかの意図をもって安価な入札を行ったのではないかと、という視点においても調査の中で慎重に審議する必要がある。 ・工事発注において技術者をはじめとする人員の逼迫により、各大学で非常に苦勞されていることと理解している。今後、業界団体に向けて申し入れなどを検討してはどうか。	

質 問・意 見	回 答
1. 入札監視委員会の進行について (基幹校(北海道大学)より説明) ・特になし	
2. 審議対象件数及び契約金額一覧について (基幹校より説明) ・特になし	
3. 点検事項該当案件一覧表について (基幹校より説明) ・特になし	
4. 抽出案件の考え方について (菊地委員長より説明) ・各大学の対象となる案件のバランス、落札率、1者応札等を考慮して抽出した。	
5. 建設工事における抽出案件の審議 ①競争入札及びプロポーザル方式において応札(応募)者が1者のみの事業 1. 【北海道大学】(札幌1)瞬間パルス研究室改修機械設備工事 ・当該工事が放射線に関連するものであることについて、いつ業者側で知ることができたか。 ・落札した業者について、過去5年間に遡って(当該放射線関係施設との)関係はどうか。 ・予定価格の算出についてどのような対応をしているか。 ・この工事は放射線区域の工事であるが、防護服を着る必要があるレベルの放射性物質があるということか。 ・放射線にある程度汚染された場所の施工が可能な業者について情報収集を行うと良いと思う。	・入札公告時に配布する図面等の資料で知ることができる。 ・(入札に)よく参加している業者であるため、学内の状況を熟知していると認識している。 ・予定価格の作成については業者から参考見積を取り寄せて、ヒアリングを行った上で、近年の物価高騰等を踏まえて慎重に対応している。 ・工事範囲のうち、放射化室が最も放射線レベルの高い部屋であるが、当該室を含む壁等を削る際に発生する粉塵が放射線で汚染されているため、防護服を着用する必要があると判断している。

質 問・意 見	回 答
5. 建設工事における抽出案件の審議 <u>①競争入札において応札者が1者のみの工事かつ②競争入札において1回目の入札で落札率が99%以上の工事</u> 2. 【北海道大学】（札幌1）大学院教育学研究院附属子ども発達臨床研究センター改修機械設備工事 ・ 予定価格における共通費の算定について、価格合計ではきれいな（1万円単位）数字となっている。予定価格の算定はどのような根拠に基づいているか。 ・ 近年の改修工事は非常に苦勞されていることが見受けられる。今後、改修工事については何かを組み合わせることで全体のボリュームを持たせる、といった配慮が必要かもしれない。	・ 文部科学省における公共工事の共通費算出の手順に沿って対応している。直接工事費は1円単位で算出している。端数の整理は一般管理費で行い、ある程度まとまった金額の1万円単位で算出している。
5. 建設工事における抽出案件の審議 <u>①競争入札において応札者が1者のみの工事かつ④入札参加者に対して低入札業者の割合が80%以上の工事</u> 3. 【北海道教育大学】事務局A管理棟等空調設備工事 ・ 低入札となった理由として機器の価格が考えられるが、想定していた機器に対して実際に備え付けられた機器は性能面で遜色はないか。	・ 設計のとおりであり、問題ない。
5. 建設工事における抽出案件の審議 <u>④入札参加者に対して低入札業者の割合が80%以上の工事</u> 4. 【室蘭工業大学】大学会館等照明設備改修工事 ・ （説明を聞いて）共通費の算出が非常に難しいと改めて思った。直接工事費は妥当であっても、業者側で共通費を削減することについて予測が難しく、結果として低入札調査対象になってしまうこともあると思う。	
5. 建設工事における抽出案件の審議 <u>①競争入札及びプロポーザル方式において応札者が1者のみの業務</u> 5. 【小樽商科大学】4号館エレベーター新設工事 ・ 一般にエレベーター関係は設置後、フルメンテナンスという形をとるため業者の選定は慎重にされたい。	
5. 建設工事における抽出案件の審議 <u>①競争入札及びプロポーザル方式において応札（応募）者が1者のみの事業</u> 6. 【帯広畜産大学】畜産フィールド科学センター実習管理棟新営機械設備工事（再公告） ・ （今後工事業者の確保が）非常に難しくなることが予想される。適正な工事を行うため、個々の大学だけでは対応が困難と思われる。今後、教育事業の重要性をなんらかの形で業界団体に申し入れをすることを検討してはどうか、と思う。	

質 問・意 見	回 答
5. 建設工事における抽出案件の審議 ③落札率が50%以下の工事 7. 【旭川医科大学】基幹整備（新病棟直流電源設備更新）工事 ・落札した業者と他の業者では三分の一近くの安い金額であった。落札した業者と更新前の業者について説明されたい。 ・低入札価格調査において、更新前の業者と価格について比較を行ったか。 ・単なる低入札ということではなく、落札した業者が何らかの意図で非常に安い価格にしているのではないか、という観点も含めて、可能な範囲でよいので再度業者へヒアリングを行い、見積内容や他社との関係について後日情報提供されたい。	・更新前は今回落札した業者とは別のメーカーが入っていた。見積書は更新前の業者と今回落札した業者の両方から徴収していた。 ・落札した業者の経営状況や適切に施工できるか、という観点で調査を行ったが、更新前の業者との価格の比較は行っていない。 ・承知した。 （後日、ヒアリングの結果について追加資料が提出された。）
6. 設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議 ①競争入札及びプロポーザル方式において応札者が1者のみの事業 8. 【北見工業大学】総合研究棟改修（工学系）設計業務（設備） ・設計の履行期間に係る記載について、補正予算による履行期間の延長を行うということが前提であるが、一般の業者には分かりづらいと思われる。履行期間の延長についてどのような説明をしているか。 ・公共事業に関わったことのない設計業者からすると、履行期間の延長について、分かりやすく伝えることで入札が増えるのではないだろうか、という感想である。 ・最近の設計業務は現場に所在していないことも多いが、落札した業者の所在地はどこか。	・入札の公示の中で、補正予算として繰越が認められた場合は履行期間を延長する旨の記載がある。 ・札幌の業者である。